

京都大学

アカデミックミツクデイ

— みんなで対話する京都大学の日 —

Kyoto
University
Academic
Day

京都大学では、誰もが学問の楽しさ・魅力に気付くことができる
コミュニケーションの場を作ります。

「研究するって、どんなこと？」

高校生も、大学生も、お父さんも、お母さんも、研究者も、先生も、
直接語り合えるアカデミックな一日です。

2012年9月2日(日)

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/>

会場：京都大学百周年時計台記念館 無料・申込不要
高校生でも大学生でも家族でもお一人でも参加歓迎

お問い合わせ：京都大学アカデミックデイ事務局
TEL：06-6221-2555 E-mail：kenkyu-taiwa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
最新情報はWEBをご覧ください 『京都大学アカデミックデイ』で検索



16:00-17:30

茶の部屋

対談式講演会

京都大学総長・松本紘がゲストの素顔にせまり、多様な話を引き出します。筋書き無しの対話術にご注目ください！

ゲスト 大島 まり氏 (東京大学教授・NHKサイエンスZERO元コメンテーター)

川口淳一郎氏 (JAXA / SAS 教授・小惑星探査機はやぶさ2元プロジェクトマネージャ)



10:00-15:30

お茶を片手に座談会

トークライブ

それぞれのテーマに沿って、みんなで語り合います。

「語り場」としての大学の未来を考える」

10時-11時30分

大学での教育・研究活動が、もっと市民や社会と身近なものになるにはどうすればよいでしょうか？現役京大生からの話題提供をきっかけに、学生・研究者・市民を交えた対話の場としての大学の在り方を考えます。

「アート×ライフインノベーション」CURATORS TV

12時-13時30分

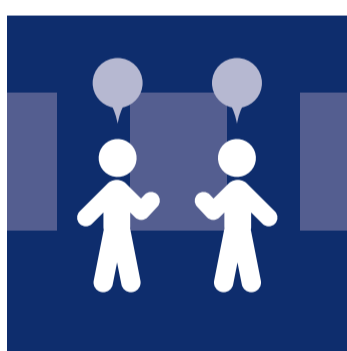
ウェブ時代における新しいサービスのカタチとは？グローバルメディアを創るには？アートによる日常の変革を目指すメディア CURATORS TVを通じて、様々なジャンルのゲストと語り合います。

「宇宙茶会」科学の対話、茶席の対話、宇宙人との対話」

14時-15時30分

科学者と茶人が、いろいろな形の「対話」について対話します。「お茶と宇宙」の対話の場、みなさんも体験してみませんか？

宇宙をモチーフに若手作家が作った茶道具も当日会場に登場します。



10:00-16:00

ポスター前で立ち話

ポスター対話

大学研究者、高校生、市民研究者などによる研究紹介です。

ポスターの前にいる研究者に話しかけてみてください。

気の向くまま、あちこちのぞくもよし。1人とじっくり語るもよし。

出展予定 「自然エネルギーで動作するコンピュータ」

「病は気から」を科学する」

「インドネシア・ジャワ島での鍾乳石研究」

「人工光合成でクリーンな水素エネルギー」

「リアルタイム地すべりモニタリング」

「被災した『思い出』を救う」

「植物と菌類の地下ネットワークと生態系」ほか25件



10:00-15:00

ちゃぶ台囲んで膝詰め対話

サイエンスカフェ

ひとつのテーブルを囲んで研究にまつわるあんな話、こんな話。

お茶の間気分で、ほっこりお話ししましょう。

出展予定 「コンピュータで薬をつくる」

「これからの数学者と話をしよう」

「南海トラフの巨大地震…どうしてM9？」

「究極に小さな電子機器を有機物から作る」

「なぜ皮膚が人に存在するのか？」

「からだの時間・地球生命体の宿命」

「微生物のちからで海藻から燃料をつくる」

「憶えること・思い出すこと…記憶と脳」

